

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		子育てひろば事業費 [子育てひろば事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	子育て支援費	事業番号	3	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係					課長名	新海 隆弘					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 地域の子育て支援(小学生の年齢まで)					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 0歳から12歳までの児童人口(令和2年4月1日)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 子どもを安心して産み育てることができる環境を整備する。 子ども達が心身ともに健やかに成長する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 相談者数・講座等参加者数						
	③ そのために何をしましたか。 市内私立保育園3園に委託して実施。事業については、市報、ホームページ、チラシ等で周知している。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ひろば開放回数・講座等開催回数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	9,706	9,558	9,421						
	成果指標	②の数値	人	94・6,978	80・5,441	81・6,223						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方 東大和市子ども・子育て支援事業計画、都補助金要綱												
3 経費	事業費(実績)		円	4,980,000	4,980,000	4,980,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	2,247,000	498,000	2,382,000						
		特定財源	円	2,733,000	4,482,000	2,598,000						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人									
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円									
事業費+人件費		円	4,980,000	4,980,000	4,980,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度 13 年度											
	(2) 環境の変化 平成15年度に誠愛保育園、平成26年度中に玉川上水保育園で事業を開始したことにより、現在は市内の私立保育園3か所で実施。地域の子育て家庭への支援の場として整備。											

事業名称	子育てひろば事業費 [子育てひろば事業]		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	市内地域分布を念頭に3保育園に委託して実施していることにより、市民からは地域性に配慮した身近な「ひろば」は使いやすいとの声があった。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：	
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）		
	市民に対するサービス提供の機会等が拡大・充実することで地域での子育て環境が向上していくよう、引き続き私立保育園に協力・理解を求めている。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。		
	実施園については、積極的な運営をお願いした。また、その他の園についても園庭開放など、地域に開かれた施設としての役割を担ってもらった。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
引き続き実施園の協力・理解を求めることで、市民に対するサービス提供の機会等が拡大・充実し、地域での子育て環境が向上していくようにしていく。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】		
	事業の利用促進を図るため、市民への広報活動を充実させる。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
市報、ホームページ、チラシ等様々な広報媒体を積極的に活用していく。			